

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 28 年度（前期）	対象学科・専攻・学年	1 年全学科（全クラス）
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	履修単位
担当教員	長田 朋樹（全クラス）	居室（もしくは所属）	講義棟 1 階 長田教員室
電話	内線 185	E-mail	t-nagata1094@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. 陸上競技の短距離・ハードル競技の基本技術を身につけ、より速い記録に挑戦することや仲間と競い合う経験をすることができる	⑥		
2. バレーボールの個人的技能（オーバーパスとアンダーパス）を身につけることができる	⑥		
3. バレーボールのルールを活用し、チーム全員でボールをつなげる“ラリーの楽しさ”を味わうためにゲームの工夫をすることができる	⑥		
4. 泳力に合った課題をクリアすることができる	⑥		
5. スポーツおよび保健の知識について理解・説明することができる	⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1-2.4. 練習およびゲーム・記録測定時のプレー内容・競技記録・スキルチェックから総合的に判断し評価する。 3. 授業時間中に記録するゲーム記録表または個人ワークシートの内容から総合的に評価する。 5. 定期試験およびレポート課題から総合的に評価する。			
評価方法			
1. 実技点（スキルチェック、ゲーム時のプレー内容、ゲーム記録票またはワークシートの内容）：25% 2. 前期末定期テストおよびレポート課題：25% 3. 授業態度（遅刻、忘れ物、服装、授業への参加度など）：50%			
授業内容			
1.	オリエンテーション、講義（飲酒、喫煙と健康）		
2.	陸上競技 短距離（歩行、かけっこの基本）、SAQ トレーニング		
3.	短距離（スタートダッシュの仕方、ルール、走るなど）		
4.	短距離・ハードル（走り方、飛び方、ルールなど）		
5.	ハードル（走り方、飛び方、ルールなど）		
6.	ハードル（走り方、飛び方、ルールなど）		
7.	新体カテスト		
8.	陸上競技 短距離・ハードル種目記録会（100m, 60mH）		
9.	バレーボール（ネットの立て方、ボール慣れ、パス・レシーブの基本的な方法）		
10.	バレーボール（パス・サービス・レシーブの練習、ゲーム）		
11.	バレーボール（パス練習・リーグ戦、審判法）		
12.	バレーボール（パス練習・リーグ戦、審判法）		
13.	バレーボール（パス練習・リーグ戦、審判法）		
14.	バレーボール（スキルテスト）		
15.	講義（感染症・エイズとその予防）		
16.			
キーワード	陸上競技、バレーボール、水泳、体力向上、コミュニケーションスキル向上、保健		
教科書	特になし（※保健授業においては教材を教員が用意する）		
参考書	特になし（※保健授業においては教材を教員が用意する）		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	体育、保健		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
○保健体育は出席することが前提条件である（オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については追加課題を与えるか、評価の対象としない場合がある）			
1. 第 1 回目と前期末テスト直前の授業は講義を行う。			
2. 実技では、学校指定のジャージ、T シャツ、短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。			
3. 授業時の無駄な私語、身勝手な行動、途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。			
4. 週番は、授業前までに連絡事項を教員室まで聞きに来ること。また、クラスへの伝達、出席簿を持参すること。			
5. 前期は、水泳を実施するので、各自水着、水泳キャップおよびゴーグルを用意しておくこと。（3 年間使用）			
6. プールに一度も入らない者には単位を与えない。			
7. 天候や進度状況により授業内容を入れ替えるなど一部変更することがある。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 22 日作成		